


静岡寺塔婆(多宝塔)



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	じょうえんじとうば(たほうとう)
所在地	瀬戸内市邑久町本庄
指定年月日	昭和35年8月23日
解説	元禄3年(1690)の建立。方三間、本瓦葺の建物である。総高12m、相輪高は3.63m。上層は円筒形の軸部に宝形造の屋根をのせ、胴部には高欄をまわす。軒は一間扇垂木、天井は小組格天井とし、出三斗の組物である。下層は軒が二重繁垂木、蛇腹支輪をかけている。内陣には、須弥壇を設け、大日如来を安置する。長押より下は寛永、それ以外は元禄の再建。扉正面元禄、西方現代、東・北面は寛永?の建設。小型の塔ではあるが、多宝塔としては県下で2番目に古いものである。
アクセス方法	JR邑久駅から車で10分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	